

社会で活躍する卒業生からのメッセージ

Alumni message

国際教養学部で学んだ先輩たちは様々な分野へ進んでいきます。それぞれの進路で活躍、奮闘する先輩からのメッセージです。



私は幼少期から海外旅行が大好きで、将来は海外と日本の架け橋になるような人材を目指し、国際教養学部に入りました。在学中は、二度の短期留学やゼミ合宿(@韓国)で幹事を務め、日韓関係や時事問題を学び、経験と教養を積みました。就活開始の大3年時には、コロナの為、辛い思いを強いられましたが、どうしても大好きな旅行を諦めることが出来ず、旅行会社に入社しました。現在は、涉外営業員として国内外問わず、ご旅行のご提案～添乗業務まで行っています。また、2023年度の学部新入生歓迎合宿では、弊社が担当として後輩の皆様を南房総までご案内し、母校の為にも活躍しています。旅行会社は、形のない商品を売るので、自分の技量が大事になりますが学部で得た知識や教養、言語力は、他人とは違う強みとして最大限活かすことができます。学部での経験は、社会でも必ず生きると思うので、多くの事に挑戦してください!



スペイン語を使って働きたいという気持ちが強かった私は、2023年3月より在外公館派遣員として在メキシコ日本大使館で勤務しています。仕事内容は多岐にわたりますが、出張者の航空券手配や旅費精算など事務的なことがメインです。また要人が来訪される際にはホテル予約や空港応援などをします。



学生時代のインターンシップを経て、現在はアフリカで事業を開展する日系スタートアップの一員として働いています。休学期間も含む学生生活で沢山の挑戦をし、自分の世界が広がりました。キャンパスを飛び出しての挑戦も、先生方が後押ししてくださいる環境があったから、今の私のキャリアがあると思います。大学の授業やゼミの研究内容と直接的に関わりがある仕事ではありませんが、信頼できる情報の集め方や理論立てて意見を伝えることなど、大学で培ったことが役に立っていると感じます。毎日英語でコミュニケーションを取りながら仕事をできるのも、大学での学びの成果だと思います。どんな経験がどこで役に立つかは、その時になってみると分かりません。大学内外で多くの人と関わり、多種多様な経験をして刺激を得て、世界を広げてみてください。



人生初の海外渡航で1年間スペインに認定留学へ行き、思うように話せない悔しさから夢中で勉強し、現地の生活にも染まり、大学でから始めたスペイン語も留学から1年後にはDELE C1に合格するほどになりました。ある程度英語が話せて当たり前の環境に身を置いたことで、英語のモチベーションも上がり、英語圏に留学することなく英語が公用語の外資系企業で働くまで英語も話せるようになりました。大学卒業後はLinkedInというアプリを利用して翻訳関連の会社に入社し、獨協大学に入学していなかつたらまず入社することはなかったであろう国際色豊かな環境で働いています。言語を学んだことで、就職に役立つだけでなく、人生が豊かになりました。たとえ周りが「無理だろ」と思っても全力でチャレンジしてみるのもありかもしれません。

根本 菜々子さん
2021年度卒業
東武トップツアーズ
株式会社 勤務



和田 志穂さん
2022年度卒業
在メキシコ日本大使館 勤務



阿部 夢果さん
2021年度卒業
株式会社HAKKARI
AFRICA 勤務

国際教養学部の1年間

Academic Year Schedule

国際教養学部には学生スタッフという有志のグループがあり、学年を超えた学生間の交流を図るためにイベントを自分たちで企画、運営しています。学部の年間の行事を学生スタッフのイベントを中心にお紹介!

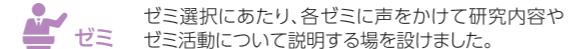


新入生歓迎合宿は言語文化学科独自のイベント。授業が始まる前に大学生活をともに過ごしていく学部の友達を作るだけでなく、先輩や先生とも話せるチャンス!

ドッジボールや大縄跳びを通じて縦つながりを作ろう! 選択言語が異なる学生ともスポーツ大会を通じて仲良く!



学生スタッフを交えてクリスマスに関するゲームをします。参加してくれた皆さんには豪華クリスマスプレゼントモ...??



ゼミ選択にあたり、各ゼミに声をかけて研究内容やゼミ活動について説明する場を設けました。



3年間のゼミでの研究成果を披露します。先生方や後輩も参加して活発な議論を行います。



先生に見守られ、卒業証書を仲間とともに受け取ります。次の世界へジャンプ!



国際教養学部 言語文化学科

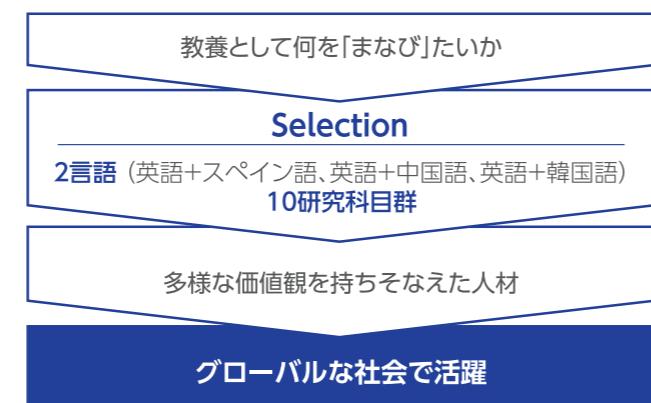
Faculty of International Liberal Arts ,
Department of Interdisciplinary Studies



英語+1言語を同量学習。 グローバルな社会で活躍する人材を育てます。

国際教養学部では英語に加え、スペイン語・中国語・韓国語のいずれかを修得し、それらの言語の実用的な運用能力を駆使して、主として日本を含む環太平洋地域の文化・社会に関する学際的な知識・技能を身に付けます。これらの多彩な能力と豊富な経験に基づき、学生たちは複数のソースからインプットをし、複雑な世界に向けて自らの力で情報を発信します。そして、国際的な市民としての社会的責任を果たす人間性を育みます。

国際教養学部長 二宮 哲



〈英語〉と〈スペイン語・中国語・韓国語のうち1言語〉を同時に同量学習。
日本語を含む3言語を自在にスイッチして使い分ける力を養う。

自分だけのカリキュラムを作り、学ぶことのできる、充実した科目数を開講。
時代の流れを汲みアップデートされた科目群で、「いま」を生きるために教養を磨く。



カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次				
		1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期	7学期	8学期
哲学	哲学	哲学I						哲学II	
演習(ゼミナー)		基礎演習a (FSP)	基礎演習b (ゼミ)					卒業研究・ 卒業論文	
研究科目群		10研究科目群 (スペイン・ラテンアメリカ研究 中国研究 韓国研究 日本研究 言語教育研究 グローバル社会研究 教育科学研究 人文学研究 認知・行動科学研究 データサイエンス研究)							
外国語科目 (2言語併修)	英語 I ★ I	英語 II ★ II	英語 III ★ III	英語 IV ★ IV	英語上級 ★上級	英語演習 ★演習			
海外実践プログラム				海外研修I・II・III	比較文化演習I・II・III(COIL)	※3学期より選択可能			
全学共通授業科目	全学総合講座部門(必修) 全学共通講義科目部門／全学共通実践科目部門／スポーツ・レクリエーション部門 外国語部門(英語以外)								

大学の外へ

「海外実践プログラム」 スタート

2年生を対象とした選択制の新カリキュラム「海外実践プログラム」は、外の世界で自分の力を試し、その結果を大学に持ち帰る、サイクルとしての学修を可能とするカリキュラムです。

海外研修

インターネットを利用した海外の大学と共同で行う課題解決型授業「COIL(コイル)」。英語を使う東南アジアの大学の学生と、共通の問題(環境問題など)を英語で議論します。



Seminar Course

ゼミナール

言語文化学科には約30の演習(ゼミナール)があり、10研究科目群と連携してそれぞれの分野を専門的に学び、卒業論文の作成へつなげています。

哲 学

ゼミでは日常生活における身近な問題を取り上げ、その理由と回答を掘り下げます。一つの思考実験室として、思考力、判断力、行動力の向上を目的とします。激動の世界であるからこそ、何が重要なのかを考え直す必要があります。それは価値問題であり、哲学の関心です。適切な判断を行い、幸せな人生を送りましょう。

人文学研究科目群



基礎からのデータサイエンス

これまで統計学やプログラミングに接して来なかつた学生に、初心者でも十分に理解できるような演習を中心に行います。さらに論理的思考や行動力を高めるために文献講読と議論を通じて試行錯誤を重ね、自分自身で主体的に研究したいテーマを見つけます。講義だけでなく、学生主体で様々な企画やイベントの参加などをしていく、とても和やかなゼミです。

データサイエンス研究科目群



応用言語学

応用言語学を大きなテーマに、習得・教育、社会、心理など多角的な視点から言語について研究します。主体性を大切にし、学生自らが課題を設定し、事前準備をしてゼミに臨みます。ディスカッションなどを通じて各自の考えを共有し、新たな発見を目指します。また、研究に必要な基礎知識や分析方法などはワークショップで補強しています。毎年書くゼミ論では、自分の興味のある内容を追求し、卒業研究につなげます。学年の隔てなく、交流の機会が多い和気あいあいとしたゼミです。

言語教育研究科目群



留学

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏の協定・認定大学は多数あります。毎年、海外で多様な学びを体験しています。

矢野大翔さん(スペイン サラマンカ大学)

スペイン最古の歴史を誇るサラマンカ大学の付帯施設であるCursos Internacionalesではスペイン語文法のみならず歴史や文化、ライティングやスピーチなどの授業も併せて学ぶことができます。街全体が世界遺産である旧市街にキャンパスがあり街中を歩くだけでも中世の歴史に触ることができます。また、現地で知り合った学生とは現在でも定期的に連絡を取り合っています。



山本綾香さん(台湾 東吳大学)

台湾の台北市士林区にある東吳大学は、山の上に位置し、野生動物が生息する自然豊かな大学です。留学を通じて現地の方々の温かさに触れることができました。また、大学の交流イベントにも積極的に参加し、そこで出会った学生とは授業後に台北を案内してもらったり、長期休みには一緒に旅行をしたりしました。今回の出会いを大切にし、また台湾を訪れたいです。

